

FM・NIIGATA × 新潟県レジ袋削減県民運動ステッカーキャンペーン in アピタ長岡店(リバーサイド千秋)



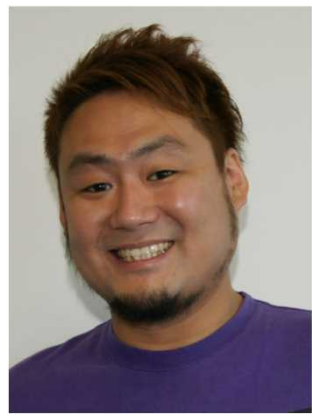
各世帯で1日1枚、レジ袋を減らすと、新潟県全体で年間3億枚削減できるって知っていますか？
FM-NIIGATAと新潟県では、レジ袋削減県民運動を推進中です！

11月3(月・祝)午後2時から、アピタ長岡店(リバーサイド千秋)で、FM-NIIGATA × レジ袋削減県民運動オリジナルステッカーキャンペーンを開催しました！

当日のパーソナリティーは清野 幹さん。

会場では、レジ袋削減運動参加署名を行い、その場でレジ袋削減運動にご参加頂いた方全員には、可愛いオリジナルエコバッグをプレゼントしました！

皆さんも、不要なレジ袋をもらわないことをきっかけに、身の回りをもう一度見直してみて、「環境にやさしい生活」を始めてみませんか？



ユニーは持続可能な社会を目指し、様々な取組を行っています。

レジ袋削減のための取り組み

- お買い得持参運動開始**
1989年に愛知県一宮市で「使用済みのレジ袋を再び使おう」という、お買い得持参運動を開始しました。
- マイバッグキャンペーン**
2001年からは「何度も使えるレジ袋代わりのマイバッグ」をスタンプカードと交換で差し上げるマイバッグキャンペーンを始めました。
- レジ袋の無料配布中止**
名古屋市緑区で、他のスーパーと一緒に有料化を進めました。市民や市の職員も一緒にキャンペーン活動をしました。



ユニー様は環境にやさしい容器包装の取組のひとつとして、1989年からレジ袋削減への取組を行っています。

現在、各地で自治体や市民団体と協力し、取組を進めています。

新潟県においても、レジ袋削減県民運動開始時から宣言事業者として御協力いただいていたのですが、平成26年2月20日、無料配布中止と同時に協定を締結しました。

新潟県レジ袋削減県民運動に関する協定

ユニー株式会社、消費者団体等及び新潟県は、循環型社会の構築と、ごみ削減や地球温暖化防止など、環境にやさしいライフスタイルの定着に向け、本協定を締結し、以下の事項について協働して取り組みます。

- ユニー株式会社は、2016年度までに県内店舗で使用する食品関連売場のレジ袋の平均削減率80%を達成するために、レジ袋の無料配布を中止します。
- ユニー株式会社は、レジ袋の無料配布を中止したことにより生じた収益金を、環境保全活動に活用します。
- ユニー株式会社は、本協定に基づく取組の実施状況を定期的に公表します。
- 消費者団体等は、マイバッグの持参等によるレジ袋の削減を消費者に広く呼びかけ、ユニー株式会社が実施するレジ袋削減の取組を積極的に支援します。
- 新潟県は、ユニー株式会社が実施する取組を消費者に広く周知し、ユニー株式会社が発行するレジ袋削減の取組を積極的に支援します。
- 新潟県は、市町村に対して、地域におけるレジ袋削減の取組の推進を呼びかけます。
- この協定に定める事項を変更しようとするとき、この協定について疑義が生じたとき、又は、この協定に定めのない事項が必要が生じたときは、協定締結者間で協議して定めるものとします。

平成26年2月20日

ユニー株式会社 代表取締役社長 佐々木 剛 新潟県知事 泉田 裕彦
NPO法人新潟県消費者協会 新潟県生活学校連携協議会
会長 長谷川かよ子 会長 馬場 道子

出展:ユニー(株)ホームページ

H26.11.3(月・祝)アピタ長岡店(リバーサイド千秋)

アピタさんにも → 御協力いただき、多くの方に御来場いただきました。



←運動参加者には3色からお好きなカラーのエコバッグを選んでいただきました。

清野 幹さんの呼びかけで411名の皆さんに運動にご参加いただきました！